

(様式第 16 号)

令和 3 年度みやぎ環境交付金事業 (計画・実績) 概要書

市町村名	仙台市
事業名	ツキノワグマ対策強化事業

<事業目的>

近年、住宅地周辺においてクマの出没が相次いでいる。令和元年 7 月から 8 月にかけては、水の森公園周辺の住宅地に長期間にわたり繰り返し出没し、最終的には住宅地に留まる事件が発生し、令和 2 年 5 月にも、泉区内の要害川周辺の住宅地に数日間連続でクマが出没している。

本事業では、クマによる被害を未然に防止するため、専門業者による現地調査を踏まえた誘因物や移動経路の特定、被害防止対策に係る助言等を行うほか、市民が適切な被害防除対策を講じることができるよう、クマ対策市民講座や啓発パネルの展示等を実施する。

二酸化炭素削減効果	kg-CO ₂
その他の効果	

<事業内容>

クマの出没の状況に応じて、専門業者に現地調査を依頼し、誘引物の特定や移動経路の特定を行うとともに、被害防除対策に関する技術的な助言を行った (現地調査 17 回)。また、住宅地周辺で目撃情報が寄せられた際に、センサーカメラを用いた追跡調査を実施した (カメラ設置箇所 4 ヶ所、計 11 個)。あわせて、状況に応じて付近に臨時の注意喚起看板を設置するとともに、再出没するなど追い払いが困難なクマについては箱わなにより捕獲した。なお、人身被害等が発生する恐れがあるが鳥獣保護管理法の規定により銃器を使用できない場合、麻醉銃による捕獲作業を行う予定だったが、そのような事例が発生せず、実施していない。

さらに、クマによる人身被害を未然に防止するため、クマの出没が多い地域において、クマの生態や被害に遭わない方法等について専門業者がわかりやすく解説する「クマ対策市民講座」を年 3 回 (当初予定 15 回) 開催し、市民啓発を行った。



啓発講座の様子



被害防除対策に関する助言・指導の様子

<その他>

当年度の事業費： 4,681,053 円

事業量： 現地調査 17 件

： 追跡調査 センサーカメラ調査 4 か所、14 日間

： 啓発講座 3 回

事業実施予定期間： 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 2 月 28 日

補助率： 100%